

政策目標 4 北海道経済の成長をけん引する街（創造戦略 4 : 札幌型産業創造戦略）

施策 1 食の魅力を生かした産業の高度化

北海道の豊かな自然や風土・気候、安全・安心を背景とした札幌の食の魅力を生かして、食関連産業の基盤を強化し、産業間の連携を促進するとともに、新たな価値の創造から道外販路の確保までを支援します。さらに、関連する企業や人材を道内外から誘致し、集積を図ることにより、食分野における産業の高度化を図ります。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値（ビジョン）
市内食料品製造業の集積状況を示す指標	食料品製造業の製造品出荷額等	2,109 億円 (平成 24 年度)	2,314 億円 (平成 31 年度)	2,400 億円 (平成 34 年度)
市内食料品製造業の粗付加価値創出の取組状況を示す指標	食料品製造業の粗付加価値額	897 億円 (平成 24 年度)	927 億円 (平成 31 年度)	940 億円 (平成 34 年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
産業振興ビジョン改定 基礎調査事業 経) 産業振興部 [9 百万円]	産業振興ビジョン ⁴⁸ 策定時（平成 23 年 1 月）と比較して、雇用情勢など社会経済状況が変化していることから、今後予想される人口減少への対応強化の観点も含めて、産業振興ビジョンを見直します。 ○産業振興ビジョンの改定 H26 : - ⇒ 目標 (H28) : 改定
6 次産業活性化推進事業 経) 産業振興部 [174 百万円]	道内の 1 次産業者と市内の 2 次・3 次産業者が連携し、道内の農水畜産資源を活用して行う新商品開発の取組を支援します。 ○新商品開発などの補助件数（累計） H26 : 4 件 ⇒ 目標 (H31) : 21 件
さっぽろスイーツ推進 事業 経) 産業振興部 [31 百万円]	スイーツ王国さっぽろ推進協議会と連携し「さっぽろスイーツ」ブランドを高めるとともに、2016 年に開催される「北海道お菓子フェア」に参画し、都市ブランドを深化させます。 ○「さっぽろスイーツ」年度グランプリ作品をアレンジ販売する店舗数 H26 : 24 店舗 ⇒ 目標 (H31) : 35 店舗
中小企業ネットワーク 構築・推進事業 経) 産業振興部 [107 百万円]	札幌の魅力である食を強化する取組を創出するため、6 次産業 ⁴⁹ 化や販路拡大の状況を調査します。 ○企業ニーズなどの調査件数（累計） H26 : - ⇒ 目標 (H31) : 5,000 件

⁴⁸ 産業振興ビジョン：札幌の産業振興の目指すべき姿やその実現に向けた方向性を示した計画。

⁴⁹ 6 次産業：第 1 次産業、第 2 次産業、第 3 次産業を融合させ、農水畜産物等に新たな付加価値を生み出そうとする考え方を表す用語。1 × 2 × 3 = 6 であることに由来する。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
フード特区関連大型設備 投資利子助成事業 経) 産業振興部 [93百万円]	札幌経済の成長をけん引する食分野の競争力を高めるため、市内の食品関連中小企業などの生産拡大や高付加価値化に資する設備投資融資に係る利子助成を行い、金利負担を軽減します。
	○本制度を利用した設備投資額（累計） H26：62億円 ⇒ 目標（H27）：150億円
札幌産農産物ブランド 力・流通力強化支援事業 経) 農政部 [17百万円]	安全・安心の向上や環境保全型農業 ⁵⁰ の実現に向けた取組を強化して実施することで、札幌産農産物のブランド力向上を図るとともに、札幌市民や企業などによる消費を拡大するための取組を合わせて実施します。
	○農産物の安全・安心向上に取り組む農業者の数 H26：192人 ⇒ 目標（H31）：230人
札幌市農業基盤整備事業 経) 農政部 [72百万円]	地産地消の推進や環境保全型農業に寄与する生産者などに対し、施設・機械などの導入を助成します。
	○農家への基盤整備補助件数（累計） H26：－ ⇒ 目標（H31）：125件

⁵⁰ 環境保全型農業：天然の有機物を利用した土づくりや化学合成農薬の使用を減らした病害虫防除など、環境負荷の低減に配慮した持続的な農業。

施策2 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

自然、食、文化芸術、スポーツなど、札幌らしい魅力資源を磨き、観光関連産業同士の連携を生むことで新たな都市観光を創造します。さらに、「北海道のショーケース」として道内各地の魅力が集まることを生かし、来訪者の集客・再訪、周遊・滞在を促進し、札幌・北海道の観光消費の拡大、付加価値の向上を図ります。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値（ビジョン）
観光地としての魅力、受入環境の充実度などを示す指標	観光地としての総合満足度（「満足」と回答した人の割合）	23.0% （平成26年度）	36.1% （平成31年度）	40% （平成34年度）
集客交流の札幌市経済に対する貢献度を示す指標	札幌市内での総観光消費額	4,293億円 （平成26年度）	4,414億円 （平成31年度）	4,700億円 （平成34年度）
集客交流の状況を示す指標	年間来客数	1,342万人 （平成26年度）	1,441万人 （平成31年度）	1,500万人 （平成34年度）

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
時計台魅力アップ推進事業 市) 文化部 [27百万円]	札幌のシンボルとして魅力アップと更なる集客を図るために、時計台の保存活用計画を策定の上、保存活用工事を実施するための基本実施設計を行います。 ○時計台保存活用工事の基本実施設計 H26：－ ⇒ 目標（H31）：実施
歴史的資産活用推進事業 市) 文化部 [19百万円]	顕在化していない歴史的資産を発掘し、まちづくりや観光、地域活性化などに有効活用していくために、（仮称）歴史的資産活用推進計画を策定します。 ○現状を把握し、価値評価を行った歴史的資産数 H26：－ ⇒ 目標（H29）：100件
札幌市資料館リノベーション事業 市) 文化部 [68百万円]	歴史的建造物である札幌市資料館を国際芸術祭の拠点として活用し、現代アートを中心とした多様な芸術表現の発信や市民の交流の場とするためのリノベーション ⁵¹ に着手します。 ○札幌市資料館のリノベーション H26：検討 ⇒ 目標（H31）：設計
さっぽろ雪まつり魅力アップ事業 経) 観光・MICE推進部 [2,095百万円]	雪まつりの魅力アップとさらなる集客増を図るため、開催期間の延長や将来にわたって安定的にイベントを継続していくための人材育成に取り組みます。 ○雪まつり年間来場者数 H26：235万人 ⇒ 目標（H31）：275万人
さっぽろホワイトイルミネーション魅力アップ事業 経) 観光・MICE推進部 [510百万円]	さっぽろホワイトイルミネーションの会場を拡大し、メディアアーツ ⁵² を活用した新しいイルミネーションを設置するほか、参加型イベントを新たに実施し、魅力を高めます。 ○大通公園でのイベント実施会場数 H26：3会場 ⇒ 目標（H28）：8会場

⁵¹ リノベーション：既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えたりすること。

⁵² メディアアーツ：ユネスコ創造都市ネットワークの登録分野の一つで、デジタル技術などを用いた新しい芸術表現。映像、演劇・舞踊（パフォーマンスアーツ）なども含む幅広い表現であり、創造的な産業にも波及する概念。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
定山溪地区魅力アップ事業	平成28年に開湯150周年を迎える定山溪エリアの魅力を総合的に高め、さらなるにぎわいを生み出すため、老朽施設の改修や集客交流拠点施設の整備、イベント実施、PR活動に取り組みます。
経) 観光・MICE推進部 [352百万円]	○定山溪の年間宿泊者数 H26: 115万人 ⇒ 目標(H31): 130万人
観光資源発掘・魅力創出事業	食、夜間観光、外国人向けといった多様な切り口の新しい観光資源を創出し、積極的に発信することで、地域の魅力あふれるまちづくりと観光振興の一体的な推進を図ります。
経) 観光・MICE推進部 [153百万円]	○新たな観光資源の発掘・魅力創出に係る取組の数(累計) H26: - ⇒ 目標(H31): 8件
国際観光誘致事業	訪日旅行客が急増しているアジア各国に対し、食やショッピングを始めとした札幌の都市の魅力を発信し、外国人観光客の誘致に取り組みます。
経) 観光・MICE推進部 [454百万円]	○誘客プロモーション実施数(累計) H26: 31件 ⇒ 目標(H31): 41件
新千歳空港国際便誘致事業	国際定期便の就航につなげるため、新千歳空港におけるチャーター便の就航や道民の海外旅行を促進します。
経) 観光・MICE推進部 [29百万円]	○新千歳空港への国際定期便就航会社数 H26: 16社 ⇒ 目標(H31): 21社
観光バス対策事業	中心市街地における観光バスの危険・迷惑な駐停車を減らす取組を行うと同時に、増加する貸切バス需要に対応するため、事業者と連携してバスドライバーの確保に取り組みます。
経) 観光・MICE推進部 [126百万円]	○観光バス待機場場利用台数 H26: 15,236台 ⇒ 目標(H31): 21,600台
観光客受入推進事業	札幌を訪れた外国人観光客の満足度を高め、リピーターとなってもらうため、通訳案内士の活用・育成を図り、受入環境を向上させます。
経) 観光・MICE推進部 [6百万円]	○札幌特区通訳案内士の活動者数 H26: 10人 ⇒ 目標(H31): 20人
インバウンド需要の取り込み強化支援事業	観光従事者の外国人応対力向上などに対する支援を行い、外国人観光客に関わる事業者の裾野の拡大を促進します。
経) 観光・MICE推進部 [20百万円]	○外国語コミュニケーション講座の年間受講者数 H26: - ⇒ 目標(H31): 200人
おもてなし・人材育成事業	ホームページや広報誌など様々な広報媒体を活用した市民のおもてなし意識の醸成やおもてなしを实践する機会の創出、事業者のサービスアップ、観光ボランティアの活動支援を通じて、観光客の受入環境を強化し、来札者の満足度向上につなげます。
経) 観光・MICE推進部 [131百万円]	○おもてなしと人材育成に関連する事業の実施数(累計) H26: - ⇒ 目標(H31): 12事業
ICT³¹社会に対応した観光まちづくり推進事業	札幌市公式観光アプリ「札幌いんふぉ」の機能を拡充するとともに、札幌市内の公衆無線LAN ⁵³ 環境の充実を行い、外国人観光客の満足度を高めます。
経) 観光・MICE推進部 [172百万円]	○新たに公衆無線LAN環境を整備した施設の数 H26: - ⇒ 目標(H27): 19施設

⁵³ 公衆無線LAN: 駅や空港などの公共施設や飲食店などで、ケーブルがなくてもインターネットに接続できる仕組み。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
宿泊施設民間投資誘発事業 経) 観光・MICE推進部 [364百万円]	観光消費額の大きい外国人富裕層などの受入環境整備を促進するため、宿泊施設が行う客室グレードアップにつながる増改築を支援する制度を創設します。 ○宿泊施設への支援件数（累計） H26：－ ⇒ 目標（H31）：4件
高齢者・障がい者に優しいハートフル園路整備事業 環) 円山動物園 [76百万円]	高齢者・障がい者を含めた全ての方が安全・安心に園内を散策できるように、円山動物園の園内通路の部分的な陥没や段差・剥離を解消します。 ○円山動物園の園内通路の整備 H26：－ ⇒ 目標（H29）：整備
円山公園第1駐車場拡張事業 環) 円山動物園 [1,755百万円]	交通渋滞の発生を抑制するとともに、動物園及び円山公園来園者の利便性を向上させるために、第1駐車場の拡張などを行います。 ○駐車可能台数 H26：833台 ⇒ 目標（H31）：1,600台
類人猿館改築事業 環) 円山動物園 [643百万円]	オランウータンとテナガザルを展示する類人猿館について、老朽化に対応するとともに、動物の生活環境向上などを目指した改築を行います。 ○類人猿館の整備 H26：－ ⇒ 目標（H30）：供用開始
東区郊外の集客施設を生かしたネットワークづくり 東) 市民部、土木部 [12百万円]	東区郊外にはモエレ沼公園やサッポロさとらんどなど集客施設が集積していることを生かし、地下鉄栄町駅を拠点とした来訪者の流れを創出するためのレンタサイクル事業の実証実験を行うほか、各施設を美しい景観で結ぶため、札幌フラワーロードの延長整備を行います。 ○レンタサイクル実証実験の利用者数（累計） H26：－ ⇒ 目標（H31）：1,000人
地下鉄宮の沢駅地区にぎわい促進事業 西) 市民部 [12百万円]	地域交流拠点である宮の沢駅周辺のさらなる活性化を図るため、まちづくり計画を策定するとともに、市内有数の観光施設である「白い恋人パーク」周辺の通りや駅周辺の諸整備を実施し、宮の沢駅周辺のにぎわいを促進します。 ○（仮称）宮の沢駅周辺地区まちづくり計画の策定 H26：－ ⇒ 目標（H29）：策定
南道央圏連携事業 南) 市民部 [－]	新幹線延伸を見据え、南区に近接する羊蹄山麓・西胆振地区の市町村で構成する連携ネットワークに参加し、食と観光の振興や防災、人口減少対策などの課題への広域的な対応を図ります。 ○南区と他市町村との連携事業数 H26：－ ⇒ 目標（H31）：3事業

その他の事業

事業名	担当部	計画事業費
首都圏における札幌市及び札幌広域圏の魅力発信事業	総) 東京事務所	[68百万円]
アートツーリズム推進事業	市) 文化部	[1百万円]
文化芸術施設リフレッシュ事業	市) 文化部	[456百万円]
文化財施設保全事業	市) 文化部	[10百万円]
札幌交響楽団運営補助事業	市) 文化部	[800百万円]
写真文化振興事業	市) 文化部	[8百万円]
演劇公演事業の拡充	市) 文化部	[68百万円]

事業名	担当部	計画事業費
サッポロ・シティ・ジャズ事業の拡充	市) 文化部	[43 百万円]
豊平館保存活用事業	市) 文化部	[1,044 百万円]
旧永山邸及び旧三菱鉱業寮保存活用事業	市) 文化部	[334 百万円]
パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業	市) 文化部	[1,329 百万円]
スポーツツーリズム推進事業	ス) スポーツ部	[2 百万円]
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業	保) 保健所	[85 百万円]
都心商業魅力アップ事業	経) 産業振興部	[26 百万円]
まちなかインバウンド促進事業	経) 産業振興部	[5 百万円]
都心商業活性化支援事業	経) 産業振興部	[5 百万円]
集客交流拠点魅力アップ事業	経) 観光・M I C E 推進部	[19 百万円]
さっぽろオータムフェスト事業	経) 観光・M I C E 推進部	[164 百万円]
観光情報発信事業	経) 観光・M I C E 推進部	[132 百万円]
観光案内サイン更新事業	経) 観光・M I C E 推進部	[63 百万円]
プレミアム付旅行券発行事業	経) 観光・M I C E 推進部	[148 百万円]
観光統計調査事業	経) 観光・M I C E 推進部	[73 百万円]
国内観光振興事業	経) 観光・M I C E 推進部	[168 百万円]
広域連携による観光振興事業	経) 観光・M I C E 推進部	[76 百万円]
観光案内所機能強化事業	経) 観光・M I C E 推進部	[293 百万円]
観光客周遊促進事業	経) 観光・M I C E 推進部	[2 百万円]
ゾウ導入事業	環) 円山動物園	[2,025 百万円]
アフリカゾーン開業準備事業	環) 円山動物園	[8 百万円]
ホッキョクグマ・アザラシ館建設事業	環) 円山動物園	[2,326 百万円]
園内小規模整備事業	環) 円山動物園	[109 百万円]
熱帯動物館解体工事事業	環) 円山動物園	[234 百万円]
円山動物園観光誘客事業	環) 円山動物園	[16 百万円]
カンガルー館改修事業	環) 円山動物園	[16 百万円]
サル山改修事業	環) 円山動物園	[37 百万円]
動物園教育普及事業	環) 円山動物園	[15 百万円]
北海道の野生動物復元推進事業	環) 円山動物園	[7 百万円]

施策3 エネルギー転換に対応した環境産業の創造

エネルギー転換の進展に伴って生じるエネルギー消費の在り方などの地域課題の解決に向けて、省エネルギー・創エネルギー⁵⁴・蓄エネルギー⁵⁵やエネルギーマネジメント⁵⁶といったエネルギー関連技術の産業化を推進します。さらに、関連する技術の集積や企業誘致により、環境分野における新たな価値を創造する産業を振興します。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値 (ビジョン)
新分野進出等に関する企業の取組状況を示す指標	新製品・新技術の開発や新分野進出に取り組むと答える企業の割合	56.7% (平成26年度)	70.0% (平成31年度)	75% (平成34年度)
新たな価値を創造するベンチャー企業の集積状況を示す指標	大学発ベンチャー企業数 (環境・エネルギー)	16社 (平成24年度)	27社 (平成31年度)	30社 (平成34年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
札幌型スマートファクトリー化推進支援事業 経) 産業振興部 [20百万円]	市内製造業者で構成したグループに対し、エネルギーマネジメントシステムの導入、省エネサポート及び電力の調達改善によるスマートファクトリー ⁵⁷ 化を推進し、経営基盤安定化を支援します。 ○エネルギー効率化に取り組んだ企業グループの数 H26：－ ⇒ 目標 (H27)：2グループ
札幌型省エネルギービジネス創出事業 経) 産業振興部 [50百万円]	市有建築物の省エネルギーや製造業のスマートファクトリー化で培った札幌市役所のノウハウを広く適用し、札幌市全体のエネルギー使用量を削減するための総合窓口を作り、札幌市特有のビジネスとしての展開を支援します。 ○省エネルギーの取組の実施件数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：400件
札幌型環境・エネルギー技術開発支援事業 経) 産業振興部 [270百万円]	市内企業などが行う環境・エネルギー分野の技術開発などの取組に対し、補助や首都圏展示会への出展を支援します。 ○当事業における新製品・新技術の開発件数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：25件
電力料金値上げに伴う事業者向け省エネ事業 経) 産業振興部 [26百万円]	電力の見える化、専門家による省エネルギーコンサルティングにより、市内中小企業の電力利用効率化を促進し、経営基盤強化を図ります。 ○省エネルギーコンサルティングの年間実施件数 H26：－ ⇒ 目標 (H27)：50件

⁵⁴ 創エネルギー：太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーなどを活用して、エネルギーを創り出すとともに、節電などによりエネルギー消費量を削減すること。

⁵⁵ 蓄エネルギー：蓄電池などを利用してエネルギー（電気・冷温熱等）を貯めておくこと。天候等に発電量が左右されやすい再生可能エネルギーと組み合わせることで、安定供給が可能となる。

⁵⁶ エネルギーマネジメント：情報通信技術（ICT）を活用して、家庭・オフィスビル・工場などのエネルギー（電気・ガス等）の使用状況をリアルタイムに把握・管理し、最適化するシステム。

⁵⁷ スマートファクトリー：工場内の機器をネットワークで結ぶことなどにより、様々な情報を「見える化」し、エネルギーの効率的利用を可能にした工場。

施策4 超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造

人口減少・超高齢社会の進行に伴って生じる需要や課題への対応に向けて、健康・福祉関連のものづくり・サービス産業を振興するとともに、医療・医薬、機能的食品などの研究開発を促進します。さらに、先端医療技術を活用することにより、健康・福祉分野における新たな価値を創造する産業を振興します。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値 (ビジョン)
新分野進出等に関する企業の取組状況を示す指標【再掲】	新製品・新技術の開発や新分野進出に取り組むと答える企業の割合	56.7% (平成26年度)	70.0% (平成31年度)	75% (平成34年度)
市内バイオ産業 ⁵⁸ の景況感を示す指標	バイオ産業の売上高	332億円 (平成25年度)	617億円 (平成31年度)	730億円 (平成34年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
健康関連産業競争力強化事業 経) 産業振興部 [87百万円]	食・バイオ関連企業の国内外での競争力や生産・品質管理を高めるため、食品・食素材の機能性に係る科学的データ取得費用、HACCP ⁵⁹ などの品質管理認証の取得費用を補助します。 ○科学的データ取得支援及び認証取得支援の補助件数(累計) H26: 2件 ⇒ 目標(H31): 30件
健康関連産業ビジネスモデル構築支援事業 経) 産業振興部 [29百万円]	産業振興の重点分野の一つである「健康・福祉」分野の産業を活性化するため、安定的なビジネスモデルの構築を支援します。 ○健康関連産業ビジネスモデルの創出件数(累計) H26: - ⇒ 目標(H31): 9件
健康関連産業研究開発支援事業 経) 産業振興部 [113百万円]	健康・医療・バイオなどの健康関連産業における研究開発を支援するとともに、そのための環境整備を進め、関連産業の集積と活性化を図ります。 ○研究開発関連の補助件数(累計) H26: 10件 ⇒ 目標(H31): 87件
コミュニティ型建設業創出事業 経) 産業振興部 [4百万円]	住まいや暮らしに係る地域や個人の生活ニーズと建設業が持つ経営資源 ⁹⁸ をコーディネート ¹⁷ することで、建設業などの地域に根差した事業展開を支援します。 ○住宅リフォームなどの本事業を活用した成約件数(累計) H26: 167件 ⇒ 目標(H29): 280件
バイオ産業販路拡大・連携促進事業 経) 産業振興部 [49百万円]	市内バイオ関連企業の道外への販路拡大を促進するため、道外及び海外における商談会・展示会への出展支援や、関係団体などと連携した市内バイオ関連企業と道外企業とのビジネスマッチングを開催します。 ○市内バイオ産業の売上高 H26: 332億円 ⇒ 目標(H31): 590億円

⁵⁸ バイオ産業: バイオテクノロジー技術を応用して商品開発を行う産業。

⁵⁹ HACCP: 原材料の受入から製造・出荷までの全ての工程で発生しうる危害(異物混入など)を予測し、危害発生を防止するための重要なポイントを特定して、継続的に監視し、管理する手法。

政策目標 5 国内外の活力を取り込む街（創造戦略5：都市ブランド創造戦略）

施策1 世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開

中小企業の海外ビジネス展開や海外からの集客を図るため、アジアや北方圏の経済発展地域に対するマーケティング活動の促進やMICE⁵誘致などを強化するとともに、企業や市民の国際化を促進するための仕組みを強化します。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値（ビジョン）
グローバル化 ⁶⁰ に対する企業の取組状況を示す指標	グローバル化への取組を行っている企業の割合	12.3% (平成26年度)	37.5% (平成31年度)	45% (平成34年度)
集客交流の要素の一つであるMICEの振興度合いを示す指標	国際会議の開催件数（暦年）	101件 (平成26年)	120件 (平成31年)	130件 (平成34年)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
多文化共生推進事業 総) 国際部 [11百万円]	外国籍市民が日本人市民と同様にまちづくりに参加し、国籍や言語、民族の違いに関わらず地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生のまちづくりを、市民活動団体などとの協働により推進します。 ○札幌市と協働して多文化共生のまちづくりに取り組む団体の数（累計） H26：－ ⇒ 目標（H31）：5団体
世界冬の都市市長会関連事業 総) 国際部 [63百万円]	「冬は資源であり、財産である」というスローガンのもと、世界の積雪寒冷地の都市が参加する国際ネットワーク「世界冬の都市市長会」を主催し、平成28年度には34年ぶりに札幌市で市長会議を開催します。 ○市長会の会員都市数 H26：20都市 ⇒ 目標（H31）：23都市
留学生誘致促進事業 経) 産業振興部 [23百万円]	外国人留学生の受入れを促進し、世界の活力を取り込むことにより、街の活性化を進めるとともに、多文化共生による都市の魅力向上を図ります。 ○ホームステイ受入れ登録ファミリー数 H26：－ ⇒ 目標（H31）：200家庭
海外拠点強化事業 経) 産業振興部 [205百万円]	中国に設置している現地事務所を活用し、企業のビジネス支援や中国からのインバウンドを推進することに加え、企業のニーズが高い香港、台湾に現地コーディネーター ²⁰ を新設することで、企業の海外展開を支援します。 ○海外へのコーディネーター設置箇所数 H26：－ ⇒ 目標（H30）：2カ所

⁶⁰ グローバル化：ヒト、モノ、カネ、情報の国境を越えた移動が地球規模で盛んになり、政治や経済など様々な分野での境界線がなくなることで、相互依存の関係が深まっていく現象。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
食品海外販路拡大支援 事業 経) 産業振興部 [217百万円]	札幌の産業の主力を担う食関連企業の輸出を促進するため、海外展示会の出展支援やバイヤー招へい、輸出専門コーディネーター ²⁰ による相談対応などを行うほか、市場規模が拡大している中国や東南アジアに対し、商社を活用した販路拡大を支援します。
	○市内企業の食品輸出額 H26：53億円 ⇒ 目標(H31)：100億円
外需獲得商材開発支援 事業 経) 産業振興部 [102百万円]	海外現地の市場ニーズに適合した商品開発や外国人観光客向けの商品・サービス開発を補助し、輸出拡大・インバウンド促進の両面から外需獲得を図ります。
	○開発した商品の売上高(累計) H26：22百万円 ⇒ 目標(H31)：566百万円
有望産業海外ビジネス 展開支援事業 経) 産業振興部 [25百万円]	今後、有望と見込まれるIT産業、環境・インフラ産業などの海外展開を促進するため、企業団の招へいや現地視察、商談会出展などを支援し、新たに着手するプロジェクトを創出します。
	○支援対象企業におけるプロジェクト着件数(累計) H26：－ ⇒ 目標(H31)：15件
海外進出企業育成支援 事業 経) 産業振興部 [74百万円]	外食産業などの海外展開の支援により、札幌に本社を置き、海外にも拠点を形成するグローバル企業を育成します。
	○海外に拠点などを形成した企業数(累計) H26：－ ⇒ 目標(H31)：11件
MICE推進事業 経) 観光・MICE推進部 [177百万円]	経済効果の高い国際会議やインセンティブツアーなどのMICE ⁵ を積極的に誘致するため、他自治体との連携などを通じた誘致活動の強化に取り組みます。
	①MICE見本市等での年間商談件数 ②インセンティブツアー誘致の年間支援件数 H26：①272件 ②54件 ⇒ 目標(H31)：①350件 ②80件
MICE誘致促進補助事 業の拡充 経) 観光・MICE推進部 [125百万円]	札幌市へのMICE誘致を促進するため、コンベンション主催者に対する助成制度を拡充します。
	○新たに補助を行ったコンベンション件数(累計) H26：－ ⇒ 目標(H31)：25件
MICE施設整備事業 経) 観光・MICE推進部 [29百万円]	大規模な国際会議などを積極的に誘致するため、国際会議場・展示場を備えた新たなMICE施設の整備に向けた検討を進めます。
	○MICE施設整備基本計画の策定 H26：－ ⇒ 目標(H29)：策定
コンベンションビューロー 運営補助事業 経) 観光・MICE推進部 [384百万円]	MICEキーパーソンに対するセールスなどを強化するため、誘致活動の中核を担う札幌国際プラザ・コンベンションビューロー ⁶¹ の体制を強化します。
	①MICE見本市等での年間商談件数 ②インセンティブツアー誘致の年間支援件数 H26：①272件 ②54件 ⇒ 目標(H31)：①350件 ②80件

⁶¹ コンベンションビューロー：公益財団法人札幌国際プラザの主要事業部門のひとつ。コンベンション(大会・学会・国際会議)誘致やコンベンション関連産業の振興などを行う。

施策2 創造性を生かしたイノベーションの誘発

創造的なものづくりにチャレンジするベンチャー企業や起業家を生み育てるとともに、優れたデザイナー、クリエイター⁶²、アーティストなどを輩出する環境を生かし、文化芸術などの創造的な活動と食・環境・健康・福祉分野などの多様な地場産業との交流を促進することにより、イノベーションを誘発します。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値 (ビジョン)
IT・コンテンツを活用した経営改善に対する企業の意識を示す指標	IT・コンテンツを活用して高付加価値をつけようと思っている企業の割合	14.0% (平成26年度)	18.2% (平成31年度)	20% (平成34年度)
クリエイティブ産業 ⁶³ の集積を示す指標	クリエイティブ産業の従事者数	33,947人 (平成24年度)	38,630人 (平成31年度)	39,000人 (平成34年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
基幹系情報システム再構築事業 総) 情報システム部 [1,326百万円]	札幌市の行政サービスを支える基幹系情報システムについて、老朽化に伴い再構築を行います。 ○国保・福祉システムの稼働 H26：－ ⇒ 目標 (H27)：稼働
IT利活用ビジネス拡大事業 経) 産業振興部 [198百万円]	市内IT企業と「食」を始めとする他産業の企業との連携を促進することで、ITを活用した新たな製品やサービスの創出、販路拡大を目指します。 ○市内IT企業との間でマッチングがなされたユーザー企業数 (累計) H26：20企業 ⇒ 目標 (H31)：53企業
ITーバイオ連携推進事業 経) 産業振興部 [79百万円]	市内IT企業と、札幌市に集積するバイオやその周辺分野に関する企業との交流会やセミナーにより、連携を促進することで、新たな製品やサービスの創出を目指します。 ○各種セミナーの企業数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：300企業
中小企業支援センター事業 経) 産業振興部 [200百万円]	中小企業の経営や融資、創業などの相談窓口を引き続き設置するとともに、優れた技術やサービスなどに係る評価書を発行することで、小規模事業者の企業価値の見える化や円滑な資金調達を支援します。 ○経営や創業などに関する相談・アドバイス件数 H26：4,216件 ⇒ 目標 (H31)：4,500件
札幌商工会議所中小企業相談所補助等事業 経) 産業振興部 [101百万円]	札幌商工会議所中小企業相談所や北海道中小企業団体中央会への補助を通じ、市内中小企業の経営基盤の強化を支援します。 ○札幌商工会議所中小企業相談所の窓口相談件数 H26：27,982件 ⇒ 目標 (H31)：28,000件

⁶² クリエイター：創造的な仕事をしている人。創作家。制作者。

⁶³ クリエイティブ産業：ここでは、個人の創造性や技能・才能に由来し、また、知的財産権の開発を通じて富と雇用を創造しうる産業をいう。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
中小企業経営セミナー等 事業 経) 産業振興部 [51 百万円]	中小企業の人材育成や創業支援などを目的に、セミナーの開催や産業振興センター入居企業に対する経営支援、様々な社会的課題をビジネスの手法を用いて解決しようとするソーシャルビジネスの担い手養成講座などを実施します。 ○セミナー及び講座の受講者数 (累計) H26 : 791 人 ⇒ 目標 (H31) : 4,000 人
中小企業融資損失補償 事業 経) 産業振興部 [1,795 百万円]	中小企業が、中小企業金融対策資金貸付などを通じて円滑に資金を調達することができるよう、北海道信用保証協会が行っている補償の一部を負担します。 ○年間新規融資件数 H26 : 7,532 件 ⇒ 目標 (H31) : 7,500 件
中小企業融資信用保証料 補給事業 経) 産業振興部 [178 百万円]	中小企業の負担軽減を図り、その資金調達を支援するため、金融機関から融資を受ける際に必要な北海道信用保証協会の信用保証料の一部を補給します。 ○保証料補給件数 (累計) H26 : 72 件 ⇒ 目標 (H31) : 250 件
中小企業金融対策資金 貸付事業 経) 産業振興部 [409,134 百万円]	中小企業の経営基盤の強化及び健全な発展と振興を図るため、運転資金や設備資金などの事業活動に必要な資金を供給します。 ○札幌市融資制度の年間新規融資額 H26 : 88,852 百万円 ⇒ 目標 (H31) : 89,000 百万円
地域総合整備資金 貸付事業 経) 産業振興部 [500 百万円]	地域振興に資する事業を行う民間事業者などを資金面から支援するため、国の地域総合整備資金貸付制度に基づき、地域総合整備財団を通じた無利子資金の貸付けを実施します。 ○貸付を受けて実施された事業による新規雇用増加数 (累計) H26 : - ⇒ 目標 (H31) : 50 人
ベンチャー支援事業 経) 産業振興部 [9 百万円]	創業予定または創業間もない市内の企業や個人を対象に、創業支援専門機関による販路開拓やマーケティングなどの総合的な経営支援を実施します。 ○支援対象者数 (累計) H26 : 43 人 ⇒ 目標 (H27) : 43 人
ベンチャー創出・育成 事業 経) 産業振興部 [50 百万円]	起業に関する講座の開催や起業家の表彰、経営支援などにより起業マインドを醸成し、起業に挑戦する方を支援します。 ○地域経済をけん引するベンチャーの表彰件数 (累計) H26 : - ⇒ 目標 (H31) : 20 件
IT 企業高度化推進事業 経) 産業振興部 [68 百万円]	IT の技術力向上により、新製品・サービスの創出促進や受注機会の拡大を目指し、研究会や研修会を実施します。 ○普及セミナー参加者数 (累計) H26 : - ⇒ 目標 (H31) : 500 人
札幌型ものづくり開発 推進事業 経) 産業振興部 [131 百万円]	市内の中小企業などが行う、新製品・新技術開発・既製品の改良に対して補助を行い、市内経済の活性化を図ります。 ○新製品・新技術の開発件数 (累計) H26 : 5 件 ⇒ 目標 (H31) : 30 件

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
インタークロス・クリエイティブ・センター事業 経) 産業振興部 [217 百万円]	コンテンツ産業振興のため、クリエイター ⁶² などの人材育成や多様な産業との連携、新たなビジネスの創出を促進するセミナーやワークショップ、助成事業などを実施します。 ○インタークロス・クリエイティブ・センタープロジェクト新規登録数 (累計) H26: - ⇒ 目標 (H31): 20 件
メディアミックスイベント創出支援事業 経) 産業振興部 [292 百万円]	クリエイティブ産業 ⁶³ の活性化や創業支援・企業誘致、文化・芸術を通じた産業・観光振興を図るため、産学官連携による映画・音楽・ICT ³¹ などの複合イベントを支援します。 ○年間イベント参加者数 H26: 16,076 人 ⇒ 目標 (H31): 50,000 人
札幌スタイル推進事業 経) 産業振興部 [78 百万円]	地域ブランド「札幌スタイル」の認証、管理、広報に加え、他地域・他産業と連携した新製品開発や販路開拓など、ブランド力を活かした取組を支援し、新たな付加価値を創出します。 ○認証製品を持つ企業数 (累計) H26: 73 社 ⇒ 目標 (H31): 100 社
国際ドキュメンタリー共同制作支援事業 経) 産業振興部 [14 百万円]	映像関連事業者の海外展開を促進し、映像産業の活性化を図るために、海外事業者とのドキュメンタリー ⁶⁴ 映像の共同制作を支援します。 ○国際ドキュメンタリー共同制作件数 (累計) H26: - ⇒ 目標 (H31): 3 件
札幌市映像制作助成事業 経) 産業振興部 [300 百万円]	映像制作をより一層促進するとともに、映像を通じた観光インバウンドや海外販路拡大を実現するため、映像制作に係る経費を助成します。 ○助成金案件の市内直接的経済効果 H26: 123,007 千円 ⇒ 目標 (H31): 150,000 千円
映像産業振興事業 経) 産業振興部 [198 百万円]	映像関連産業の振興とともに、観光インバウンドや地場商品の海外販路拡大につなげていくため、国内外へのロケ誘致活動を推進することで、映像を通じたプロモーションを展開します。 ○創出した共同映像制作数 H26: 14 件 ⇒ 目標 (H31): 25 件
映像コンテンツ販路拡大事業 経) 産業振興部 [55 百万円]	海外に対して映像コンテンツの輸出を進めるため、市内の映像関連事業者の参加を募って、国内外の映像商談会に出展します。 ○映像コンテンツの輸出額 H26: 2.8 億円 ⇒ 目標 (H31): 3.0 億円
フィルムコミッション事業 経) 産業振興部 [100 百万円]	札幌や北海道を舞台にした映画、ドラマなどのロケ撮影を促進するため、撮影の際の相談対応や撮影支援などを実施します。 ○ロケ相談対応実績数 H26: 83 件 ⇒ 目標 (H31): 200 件

⁶⁴ ドキュメンタリー：取材対象をありのままに記録し編集した映像作品。

施策3 広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実

道内の産業間の連携を深めるとともに、道央圏における主要な空港や港湾などとの交通ネットワークを強化し、道内外とのヒト・モノ・情報の流れを活性化します。

また、こうした取組に併せて、道都・札幌の都心の魅力づくりや、バックアップ機能の誘致、国内外からのものづくり機能の集積を促すための環境づくりを推進し、北海道全体の発展に貢献していきます。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値（ビジョン）
札幌を含めた広域経済圏企業の輸出に対する取組状況を示す指標	札幌を含めた広域経済圏の輸出額	3,072 億円 (平成 26 年度)	3,143 億円 (平成 31 年度)	3,200 億円 (平成 34 年度)
経済・雇用の活性化につなげるための企業誘致の取組状況を示す指標	誘致施策を活用した立地企業数（累計）	111 社 (平成 26 年度)	160 社 (平成 31 年度)	175 社 (平成 34 年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
道内地域活性化連携事業 政) 政策企画部 [39 百万円]	北海道全体の活性化を図るため、道内市町村との関係を深化させるとともに、民間のアイデアを生かし、道内連携に関する市内民間企業などとのタイアップ事業や札幌の都市機能 ⁶⁵ を活用した道内各地域の魅力発信などを実施します。 ○道内連携に関する市内民間企業などとのタイアップ事業実施件数（累計） H26：4 件 ⇒ 目標（H31）：20 件
札幌都心 ICT 基盤整備検討事業 政) 政策企画部 [10 百万円]	活力があふれ世界を引きつける都心を実現するために、民間投資を呼び込み、企業立地にもつながる、都心に必要な ICT ³¹ 基盤整備の要件を検討します。 ○ICT 基盤整備要件の策定 H26：－ ⇒ 目標（H28）：策定
札幌駅交流拠点まちづくり推進事業 政) 政策企画部 [95 百万円]	北海道新幹線の札幌延伸を見据え、札幌駅周辺の魅力を高めるため、（仮称）札幌駅交流拠点まちづくり計画を策定し、北 5 西 1・北 5 西 2 街区や関連施設の整備、周辺街区の事業化に向けた検討に官民協働で取り組みます。 ○（仮称）札幌駅交流拠点まちづくり計画の策定 H26：－ ⇒ 目標（H29）：策定
地下鉄さっぽろ駅魅力アップ事業 政) 政策企画部 [1,174 百万円]	地下ネットワークの充実強化・新たなにぎわいや回遊性の創出のため地下鉄さっぽろ駅を改修し、道都札幌の玄関口にふさわしい質の高い空間を形成するとともに、通行の支障となっている東豊線連絡通路の柵を撤去します。 ○地下鉄さっぽろ駅の改修 H26：－ ⇒ 目標（H29）：整備完了

⁶⁵ 札幌の都市機能：ここでは、業務、商業、居住、工業、交通、政治、行政、教育などの諸活動によって担われる都市の持つ種々の働きをいう。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
創成川通機能強化検討 調査事業 政) 総合交通計画部 [30 百万円]	都心部と高速道路を結ぶ創成川通(国道5号)のアクセス機能を強化するため、効果検証や市民理解に向けた取組など、国と連携しながら必要な検討を行います。 ○創成川通機能強化に向けた検討 H26: - ⇒ 目標(H27): 検討着手
丘珠空港利用促進事業 政) 総合交通計画部 [34 百万円]	道内外からのアクセス性を高め、ヒトやモノなどの流れを加速させるため、広域的な連携による航空路線の拡充促進や関係団体との協働によるプロモーションなどを通じて、丘珠空港の利用促進を図ります。 ○丘珠空港年間利用者数 H26: 17.4 万人 ⇒ 目標(H31): 18.3 万人
豊平川通南北延伸検討 調査事業 政) 総合交通計画部 [60 百万円]	都心へのアクセス強化や都心部を通過する自動車を効果的に抑制することを目的として、豊平川通の南伸・北伸について、整備効果の検証や課題解決のための技術的な検討を進めます。 ○豊平川通の南北延伸の計画検討 H26: 調査 ⇒ 目標(H31): 計画検討
企業立地促進事業 経) 産業振興部 [3,042 百万円]	雇用の創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、本社機能移転を始めた企業の立地を促進します。 ○企業誘致専用ホームページの整備 H26: - ⇒ 目標(H28): 開設・運用
大谷地流通業務団地 高度化検討事業 経) 産業振興部 [19 百万円]	道央圏の重要な物流拠点である大谷地流通業務団地の高度化・効率化を図るため、立地企業などの関係者の機運を醸成するとともに、対応策を検討します。 ○高度化に向けた意欲が向上したと答える企業の割合 H26: - ⇒ 目標(H31): 80%
道内連携国内販路拡大 支援事業 経) 産業振興部 [57 百万円]	経済分野での道内連携を推進するため、札幌の強みである卸売機能や消費機能を活用した国内販路拡大を支援します。 ○マッチング・販路拡大事業に参加した企業の商談額・売上額(累計) H26: 74 百万円 ⇒ 目標(H31): 417 百万円
東雁来第2土地区画整理 事業 都) 市街地整備部 [6,678 百万円]	子育て世代や高齢者が生き生きと暮らす街を目指すとともに、食関連産業を始めとするものづくり産業などの集積を図るため、土地区画整理事業を進めます。 ○土地区画整理事業の進捗率 H26: 89% ⇒ 目標(H29): 事業完了

施策4 シティプロモート戦略の積極展開

創造的な文化芸術活動、豊かな食文化、環境との共生、健康な暮らしなどの札幌ならではのライフスタイルの魅力を市民が感じ、その魅力を高めて世界に発信するシティプロモートの推進や、札幌らしい特色のある国際的なイベントの開催などを通じて集客を図ることにより、札幌の魅力を感じ、発信する人を更に増やしていきます。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値（ビジョン）
観光地としての魅力、受入環境の充実度などを示す指標【再掲】	観光地としての総合満足度（「満足」と回答した人の割合）	23.0% (平成26年度)	36.1% (平成31年度)	40% (平成34年度)
集客交流の状況を示す指標【再掲】	年間来客数	1,342万人 (平成26年度)	1,441万人 (平成31年度)	1,500万人 (平成34年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
ふるさと納税活用事業 総) 秘書部 [9百万円]	札幌市への寄付（ふるさと納税）について、クレジットカード納付を可能とすることで利便性を向上させるとともに、札幌の観光PRとなる特典を付与することで、プレミアム感の演出や直接的な集客の増加を目指します。 ○ふるさと納税の年間寄付者数 H26：162人 ⇒ 目標（H31）：190人
シティプロモート推進事業 総) 広報部 [69百万円]	札幌市の総合的なブランドづくりやマネジメントを戦略的に行うため、平成23年度に策定した「魅力都市さっぽろシティプロモート戦略」に基づき、統一的な都市イメージの発信に取り組みます。 ○サッポロスマイルパートナーズ ⁶⁶ 登録団体数 H26：154団体 ⇒ 目標（H31）：350団体
創造都市さっぽろ推進事業 政) 政策企画部 [114百万円]	創造性を活かした都市活性化を図るため、ユネスコ創造都市ネットワーク ⁶⁷ （UCCN）や創造都市ネットワーク日本 ⁶⁸ （CCNJ）加盟都市との実質的な連携・交流を進めるとともに、市民の創造活動を支援します。 ○連携・交流している創造都市数（累計） H26：1都市 ⇒ 目標（H31）：10都市
創造都市さっぽろコンテスト開催事業 政) 政策企画部 [9百万円]	ファッション、アニメ、マンガ、コスプレなどの多様なコンテンツを活用した創造的な取組を対象としたコンテストを実施し、新しい街の魅力を発信します。 ○創造都市さっぽろコンテストの開催 H26：－ ⇒ 目標（H27）：開催

⁶⁶ サッポロスマイルパートナーズ：さっぽろのまち全体でシティプロモートを推進するため、平成25年12月に設立した民間事業や団体からなる会員組織。

⁶⁷ ユネスコ創造都市ネットワーク：創造的・文化的な産業の育成・強化によって都市の活性化を目指す世界の各都市が、国際的な連携・相互交流を行うことを支援する枠組。文化の多様性の保護を重視するユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が平成16年に創設。

⁶⁸ 創造都市ネットワーク日本：創造都市の取組を推進する（または推進しようとする）地方自治体など、多様な主体を支援するとともに、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォーム。創造都市の普及・発展を図ることを目的として、平成25年1月13日に設立された。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
国際芸術祭事業 市) 文化部 [763 百万円]	札幌の地域特性を活かした多様な芸術表現に触れられる札幌国際芸術祭を3年に1度定期的で開催するとともに、札幌市資料館を拠点として芸術祭に対する理解促進につながる取組を行います。 ○国際芸術祭の普及啓発のためのイベント実施回数 (累計) H26: - ⇒ 目標 (H31): 100 回
地域スポーツコミッション事業 ス) スポーツ部 [159 百万円]	スポーツイベントなどの誘致を戦略的に行う専門組織である地域スポーツコミッション ¹⁰² を設立し、国際競技大会誘致や合宿誘致に取り組むとともに、大会運営支援や各国際競技連盟とのネットワークづくりを行います。 ○地域スポーツコミッションの設立 H26: - ⇒ 目標 (H27): 設立
スポーツイベント招致促進事業 ス) スポーツ部 [30 百万円]	冬季オリンピック・パラリンピック招致に向け、スポーツイベントなどを積極的に招致・開催するための支援を行います。 ○新たに開催するスポーツイベント件数 (累計) H26: - ⇒ 目標 (H31): 6 件
ラグビーワールドカップ2019開催事業 ス) スポーツ部 [849 百万円]	世界3大スポーツイベントの一つといわれるラグビーワールドカップ2019を開催することにより、トップレベルのスポーツに触れる機会を提供するとともに、大会を通じて国内外へシティプロモートを実施します。 ○ラグビーワールドカップ2019大会の開催 H26: - ⇒ 目標 (H31): 開催
日本スポーツマスターズ2018招致・開催事業 ス) スポーツ部 [33 百万円]	競技志向の高いシニア世代(原則35歳以上)を対象とした全国規模のスポーツの祭典である日本スポーツマスターズを開催し、競技スポーツの振興や集客交流を通じた札幌の魅力発信を図ります。 ○日本スポーツマスターズ2018大会の開催 H26: - ⇒ 目標 (H30): 開催
海外シティプロモート推進事業 経) 観光・M I C E 推進部 [173 百万円]	札幌がこれまで以上に世界から信頼される都市となり、海外で行う事業展開がより効率的・効果的なものとなるよう、札幌の認知度と好感度を高めるシティプロモートを海外で実施します。 ○対象国・地域数 (累計) H26: 1 カ国 ⇒ 目標 (H31): 5 カ国

その他の事業

事業名	担当部	計画事業費
プロスポネット SAPPORO 連携事業	ス) スポーツ部	[15 百万円]
ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催事業	経) 観光・M I C E 推進部	[40 百万円]
ミラノ国際博覧会出展支援事業	経) 産業振興部	[12 百万円]

施策5 さっぽろ未来創造プロジェクト

札幌市では、先人たちが培ってきた財産を生かし、官民の連携を通じて札幌の未来を創造していくため、「新幹線の札幌延伸の早期実現」、「冬季スポーツ国際大会の誘致」、「バックアップ拠点としての全国への貢献」の3つのプロジェクトに重点的に取り組みます。

市民、企業、行政など、このまちに関わる全ての人々が、札幌の将来の姿を共に思い描き、共有し、そこから湧き上がる情熱を胸に、それぞれの立場で役割を發揮しながら、都市像の実現に向けてまい進していきます。こうした官民一体となった活動によって夢を実現していく取組を、未来創造プロジェクトと名付け、シビックプライド⁶⁹の醸成を図りつつ、新たな札幌のブランド価値を創造していきます。

主な事業

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容
	活動指標
北海道新幹線推進事業	北海道新幹線札幌延伸の早期実現に向けて、関係機関と連携した要望活動や市民への情報発信による機運醸成を図るとともに、新函館北斗開業の効果拡大に向けた取組を行います。
政) 総合交通計画部 〔45百万円〕	○啓発・PR活動の年間実施回数 H26：20回 ⇒ 目標(H31)：20回
F I S スノーボードワールドカップ 2016 札幌大会補助事業	国内外に札幌の魅力をPRし、トップレベルのウインタースポーツに触れる機会を提供するため、F I S スノーボードワールドカップ 2016 札幌大会の開催を支援します。
ス) スポーツ部 〔29百万円〕	○F I S スノーボードワールドカップ 2016 の開催 H26：－ ⇒ 目標(H27)：開催
冬季オリンピック・パラリンピック招致事業	冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けて、招致委員会の立ち上げや招致気運醸成、広報、各種調査、立候補ファイルの作成などを行います。
ス) 招致推進部 〔－〕	
ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点改修事業	ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点 ⁷⁰ として国の指定を受けた大倉山・宮の森ジャンプ競技場において、世界で活躍できる選手の育成や国際競技力の向上のため、設備の充実を図ります。
ス) スポーツ部 〔41百万円〕	○競技力向上に向けた施設や設備の新設及び改修(累計) H26：－ ⇒ 目標(H28)：5件
オリンピックミュージアム活用推進事業	ウインタースポーツミュージアムをオリンピックミュージアムとして改修し、オリンピック招致気運の醸成、オリンピック教育の推進、パラリンピックへの理解推進を図るとともに、オリンピックミュージアムネットワークの加入を検討します。
ス) スポーツ部 〔83百万円〕	○ウインタースポーツミュージアムの年間来館者数 H26：108,517人 ⇒ 目標(H31)：130,000人

⁶⁹ シビックプライド：ここでは、市民が都市を構成する一員であると自覚し、誇りや愛着をもって、都市をより良くしようとする当事者意識をいう。

⁷⁰ ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点：トップレベル競技者用トレーニング施設であるナショナルトレーニングセンターでは対応できない競技について、国から指定を受けて選手強化活動を行うスポーツ施設。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
<p>2017 冬季アジア札幌大会開催事業</p> <p>ス) スポーツ部 [一]</p>	<p>日本国内はもとより、アジア地域に広くウインタースポーツと札幌・北海道の魅力を発信するとともに、市民・道民が国際理解を深める機会を創出するため、平成 29 年 2 月に札幌・帯広を会場に冬季アジア札幌大会を開催します。</p> <p>○2017 冬季アジア札幌大会の開催 H26：－ ⇒ 目標 (H28)：開催</p>
<p>冬季オリンピック・パラリンピックに係る環境影響評価事業</p> <p>環) 環境都市推進部 [33 百万円]</p>	<p>冬季オリンピック・パラリンピックの事業計画を環境に適切に配慮したものとするため、関係する施設の環境影響評価を実施します。</p> <p>○実施段階指針の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：策定</p>

政策目標 6 産業分野の人材を育む街（創造戦略6：産業人材創造戦略）

施策1 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用

子どもたちが文化芸術に親しむ環境や、様々な就業体験、留学体験などの教育プログラムを充実させることで、幼い頃から創造性や国際感覚を育むなど、子どもたちの経験を豊かにする環境をつくるとともに、高等教育機関などにより、札幌・北海道の将来を担う創造性豊かな人材の育成につなげます。また、優れた人材が持つ知識や経験などを積極的に活用します。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値（ビジョン）
子どもが育つ環境の豊かさを示す指標	子どもが自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思う人の割合	60.8% (平成26年度)	65.0% (平成31年度)	70% (平成34年度)
国際化の要素の一つである海外からの留学生の受入状況を示す指標	海外からの留学生数	1,860人 (平成26年度)	3,100人 (平成31年度)	3,400人 (平成34年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
平和都市宣言普及啓発事業 市) 地域振興部 [39百万円]	「札幌市平和都市宣言」の理念を広く普及するため、啓発イベントの実施など、市民が改めて平和について考える機会の提供を行い、平和の大切さを確実に次世代に伝えます。 ○平和事業への年間参加者数 H26：4,617人 ⇒ 目標（H31）：6,700人
（仮称）札幌博物館整備推進事業 市) 文化部 [17百万円]	札幌博物館の整備に向け、展示内容や事業活動の展開方法などを定めた「展示・事業基本計画」や整備内容を定めた「整備基本計画」を策定します。 ○博物館整備基本計画の策定 H26：－ ⇒ 目標（H31）：策定
さっぽろ国際人材育成事業 経) 産業振興部 [48百万円]	海外で働く日本人や日本で活躍する外国人を講師としてセミナーを行うほか、留学生との交流事業や長期留学費用補助を実施し、国際理解の促進を図ります。 ○セミナー及び交流事業の年間参加者数 H26：－ ⇒ 目標（H31）：850人
IT産業UIJターン⁷¹等支援事業 経) 産業振興部 [18百万円]	理系人材の流出や厳しい雇用イメージによる人材不足が深刻なIT産業の人材を確保するため、インターンシップ ⁷² などを実施し、IT産業の従事者を増やします。 ○札幌市内のIT産業従事者数 H26：16,743人 ⇒ 目標（H31）：17,000人

⁷¹ UIJターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称。Uターンは出身地に戻る形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態を指す。

⁷² インターンシップ：高い職業意識の育成や就職後の職場への適応力の向上を図るため、学生が企業等において一定期間実習・研修的な就業体験をする制度。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
ものづくり人材育成・ デザイン活用型製品開 発支援事業 経) 産業振興部 [125百万円]	工場見学バスツアーやPR冊子作成などでのものづくり企業の魅力や技術を発信などにより、ものづくり分野への興味を深め、将来的な入職を促進するとともに、ものづくり企業の人材育成やデザイン活用による製品開発力の向上を支援します。 ○親子ものづくりバスツアー参加人数(累計) H26: 30人 ⇒ 目標(H31): 480人
若年層ワークトライアル 事業 経) 雇用推進部 [132百万円]	おおむね35歳以下の求職者及び非正規社員を対象に、就職に必要な能力及び社会人基礎力を身に付けてもらう研修や職場実習などを実施し、市内企業への正社員及び正社員への転換が可能な早期の就職を支援します。 ○本事業の参加者の就職率 H26: - ⇒ 目標(H31): 54%
東京圏新卒者等U I J ターン就職支援事業 経) 雇用推進部 [101百万円]	新卒者などのU I Jターン ⁷¹ と市内企業の採用を支援するため、都内にU I Jターン就職希望者と企業向けの就職支援窓口を新たに開設します。また、東京圏の大学での説明会のほか、市内企業を集めた合同企業説明会を開催します。 ○訪問大学における説明会実施率 H26: - ⇒ 目標(H31): 35%
新規就農等バックアップ 事業 経) 農政部 [4百万円]	新規就農者及び若手後継者の経営力向上を図るため、経営知識に関する講習会や持続可能な経営に向けた経営診断などを実施します。 ○新規就農者の就農5年目における一人当たり所得 H26: - ⇒ 目標(H31): 240万円
建設業人材確保・育成 支援事業 建) 土木部 [76百万円]	建設業従事者の高齢化の進行や若者の新規就業者の減少に対応するため、将来の担い手として期待される、女性や若者のほか、喫緊の課題である除雪従事者を確保・育成する取組に対して助成・支援を行います。 ○助成・支援制度利用件数(累計) H26: - ⇒ 目標(H30): 160件
青少年科学館を活用した 理科教育推進事業 教) 生涯学習部 [18百万円]	科学や科学技術の普及啓発を通じた創造性豊かな人材の育成のため、展示物の更新や企業・大学の先端技術発表の場の整備などといった科学館機能についての基本構想を策定するとともに、科学館を活用した理科授業プログラムを構築します。 ○青少年科学館を利用して理科学習を実施した児童生徒数 H26: 17,501人 ⇒ 目標(H31): 20,000人
教育の情報化推進事業 教) 生涯学習部 [9,058百万円]	急速な情報化・グローバル化 ⁶⁰ への対応と子どもたちの学ぶ力の一層の向上を目指し、ICT ³¹ を活用した授業を日常的に実施できるよう、タブレットなどの機器や教材の整備と授業での効果的な活用に向けた取組を行います。 ○教員や児童生徒が授業で活用するタブレット台数 H26: 218台 ⇒ 目標(H31): 3,652台
課題探究的な学習モデル 研究事業 教) 学校教育部 [229百万円]	市立札幌開成中等教育学校において、豊かな国際感覚や課題発見・解決能力を身に付けたグローバル人材を育成するための、IBプログラム ⁷³ やICTを活用した課題探究的な学習 ⁸ モデルを研究・確立します。 ○新たな課題探究的な学習モデルの確立 H26: - ⇒ 目標(H31): 確立

⁷³ IBプログラム: 国際バカロレア機構(IBO)が定める、異文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でよりよい世界の実現のために貢献する、探究心、知識、思いやりのある若者の育成などを目的とした国際的な教育プログラム。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
算数にーゴプロジェクト事業 教) 学校教育部 [52 百万円]	課題探究的な学習 ⁸ の充実の一環として、小学校高学年の算数で、個に応じた手厚い指導により学習への意欲や論理的思考力を高めるため、25 人程度の少人数指導の充実を図ります。 ○算数で課題探究的な学習を少人数指導で計画的に行う小学校の割合 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：100%
小学校における英語専門教師配置事業 教) 学校教育部 [3 百万円]	小学生が、英語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、発達段階に応じたコミュニケーション能力を身に付けることができるようにするため、全ての小学校に英語専門教師を配置します。 ○英語専門教師が配置されている小学校数 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：202 校 (全小学校)
オリンピック・パラリンピック教育推進事業 教) 学校教育部 [10 百万円]	「スポーツを通じて心身を鍛え、人種・民族、国の違いを超えて友好を深め、平和な世界を築く」というオリンピックの理念を踏まえ、スポーツを通じて子どもの知・徳・体をバランスよく育むための取組を推進します。 ○オリンピック・パラリンピックを題材とした授業を実施する学校数 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：299 校 (全小中学校)
学校図書館司書配置事業 教) 学校教育部 [145 百万円]	中学生の読書活動を推進し、読書への興味・関心を向上させるとともに、授業における学校図書館の活用を充実させるため、全中学校に学校図書館司書を配置し、学校図書館の「学習・情報センター」としての機能を強化します。 ○学校図書館司書が配置されている中学校数 H26：1 校 ⇒ 目標 (H31)：97 校 (全中学校)
小中連携・一貫教育推進事業 教) 学校教育部 [8 百万円]	中学校進学時の環境変化による様々な課題に対応するため、小学生が中学校の授業を体験するなどの小中連携を推進するとともに、先進都市の視察やモデル校での調査・研究を通して、小中一貫教育の在り方などを検討します。 ○小中一貫教育のモデル研究校数 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：2 校
国際理解教育推進事業 教) 学校教育部 [2,263 百万円]	外国語教育における児童生徒のコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の一層の充実を図るため、市立小・中・高等学校などに外国語指導助手 (ALT) を増員配置します。 ○週 1 回 ALT との授業を実施している中学校数 H26：6 校 ⇒ 目標 (H31)：97 校 (全中学校)

その他の事業

事業名	担当部	計画事業費
子どもの美術体験事業	市) 文化部	[49 百万円]
能楽振興事業	市) 文化部	[10 百万円]
アートによる地域活性化事業	市) 文化部	[8 百万円]
文化芸術振興事業	市) 文化部	[141 百万円]
Kitara ファースト・コンサート事業	市) 文化部	[95 百万円]
子どものミュージカル鑑賞事業の拡充	市) 文化部	[24 百万円]
さっぽろアートステージの拡充	市) 文化部	[161 百万円]
博物館活動センター事業の拡充	市) 文化部	[66 百万円]
札幌マラソン大会姉妹都市交流事業	ス) スポーツ部	[2 百万円]
国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業	ス) スポーツ部	[24 百万円]
さっぽろアスリートサポート事業	ス) スポーツ部	[50 百万円]

事業名	担当部	計画事業費
少年国際交流事業	子) 子ども育成部	[36 百万円]
中小企業採用力・人材育成力強化事業	経) 雇用推進部	[40 百万円]
ローカルマッチプロジェクト事業	経) 雇用推進部	[40 百万円]
フレッシュスタート塾事業	経) 雇用推進部	[274 百万円]
若年層職場定着支援事業	経) 雇用推進部	[24 百万円]
さっぽろ夢農業人育成支援事業	経) 農政部	[268 百万円]
野外教育事業	教) 生涯学習部	[42 百万円]
読書チャレンジ・図書資源ネットワーク事業	教) 生涯学習部	[20 百万円]
さっぽろ学校給食フードリサイクル事業	教) 生涯学習部	[6 百万円]
進路探究学習オリエンテーリング事業	教) 学校教育部	[36 百万円]
学校教育指導事業	教) 学校教育部	[99 百万円]
札幌版リンクアップ事業	教) 学校教育部	[6 百万円]
スーパーグローバルハイスクール研究開発事業	教) 学校教育部	[55 百万円]
スーパーサイエンスハイスクール研究開発事業	教) 学校教育部	[6 百万円]
人権教育推進事業	教) 学校教育部	[10 百万円]
札幌らしい特色ある学校教育事業	教) 学校教育部	[89 百万円]
子どもの読書活動サポート事業	教) 学校教育部	[35 百万円]
札幌市観察実験アシスタント配置事業	教) 学校教育部	[62 百万円]
高校改革支援事業	教) 学校教育部	[52 百万円]
「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」推進事業	教) 学校教育部	[18 百万円]
読書チャレンジ・子どもの読書活動推進事業	教) 中央図書館	[32 百万円]
さっぽろっこ読書プラン策定	教) 中央図書館	[1 百万円]

施策2 誰もが活躍できる社会の実現

子育てなどと仕事が両立できるように、子育て支援環境の充実やワーク・ライフ・バランス⁷の取組の促進などを通じて、働く意欲のある女性の活躍しやすい環境をつくります。また、豊富な社会経験・知識・技能を持つ高齢者の起業、就職を支援することなどにより、社会的課題を解決するソーシャルビジネスやコミュニティビジネス⁷⁴などの活動を促進し、女性を始め、誰もが活躍できる社会を実現します。

成果指標

指標選定の考え方	指標	現状値	目標値	【参考】 目標値 (ビジョン)
ワーク・ライフ・バランス 社会の進展に対する市民意識を示す指標	仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合	47.3% (平成26年度)	65.0% (平成31年度)	70% (平成34年度)
女性が活躍しやすい環境の充実度を示す指標	女性の有業率	45.2% (平成24年度)	57.2% (平成31年度)	60% (平成34年度)

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
女性向けキャリア支援事業 市) 市民生活部 [10百万円]	創業を目指す女性の活躍を後押しするため、男女共同参画センターで実施している女性向けコワーキング ⁷⁵ スペース事業のレベルアップを図り支援を強化するほか、女性の起業・就業への支援を行うコミュニティの形成を図ります。 ○コワーキングスペース利用登録者数 H26: 385人 ⇒ 目標 (H31): 1,000人
仕事と暮らしのライフプラン支援事業 子) 子ども育成部 [152百万円]	札幌の未来を担う若者たちが、仕事と暮らしの調和したライフプラン ⁶ を実現できるよう、様々な情報発信を行うとともに、育休代替職員雇用への助成など、企業に対する支援を充実させ、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。 ○ワーク・ライフ・バランス認証企業数 H26: 459社 ⇒ 目標 (H31): 760社
女性起業家育成事業 経) 産業振興部 [11百万円]	女性中小企業診断士による相談窓口を開設し、女性の起業や経営に関する相談を受けるほか、女性起業家交流会を実施し、女性の起業を支援します。 ○相談窓口年間利用件数 H26: 77件 ⇒ 目標 (H31): 80件
子育てママ再就職支援事業 経) 雇用推進部 [54百万円]	未就学児を抱える子育て女性が希望する多様な就労を支援するため、各区であいワーク ⁹ などと連携したセミナーや採用意欲のある企業での職場体験を実施します。 ○職場体験参加者のうち、就職に至った人の割合 H26: - ⇒ 目標 (H31): 50%

⁷⁴ コミュニティビジネス：地域の課題を住民、NPO、企業などが連携して、ビジネスの手法を用いて解決しようとする事業。

⁷⁵ コワーキング：各個人が独立して働きつつも、働く場所を共有することで、アイデアや情報を交換し、協働して新たなビジネスを生み出していく仕事の仕方。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
就業サポートセンター等事業 経) 雇用推進部 [918 百万円]	就業サポートセンター及び各区あいワーク ⁹ において、ハローワークと連携した職業紹介を行います。また、高齢者向けのセミナーや求人開拓などにより、高齢者の就業を支援します。 ○高齢者雇用を働きかけた企業数（累計） H26：－ ⇒ 目標（H31）：14,400 社
女性社員の活躍応援事業 経) 雇用推進部 [64 百万円]	就労を希望する女性が結婚・出産をしても仕事を続けられるよう、女性社員向け各種セミナーや、企業向け集合セミナー、出前講座を実施することにより、女性の仕事と子育ての両立を支援します。 ○年間事業参加者数 H26：808 人 ⇒ 目標（H31）：1,000 人
札幌市シルバー人材センター運営費補助事業 経) 雇用推進部 [148 百万円]	高齢者が働くことを通じて社会参加し、自らの生きがいの充実と健康の増進を図るとともに、活力ある地域社会作りに貢献することを目的とする札幌市シルバー人材センターを支援するため、運営費の一部を補助します。 ○シルバー人材センター年間受注額 H26：923,437 千円 ⇒ 目標（H31）：950,000 千円